

# 法制審議会民法成年年齢部会

ライフスクリプトと

「大人になること」

北海道大学大学院文学研究科

心理システム科学講座

仲真紀子

# はじめに

- どのような観点から報告をするか。
  - › 発達心理学，認知心理学：記憶やコミュニケーションの発達的变化。体験や思い出をどう語るか。
  - › フィールド：子ども，少年への司法面接。
- 7つのヒアリング事項
  - › 発達段階説（ピアジェ，エリクソン・・・）
  - › 資格試験に合格すれば「大人」になるのではない。
  - › 人生のタイムラインで，何がどのように起きると期待しているのか（ライフスクリプト調査）。

# ヒアリング事項

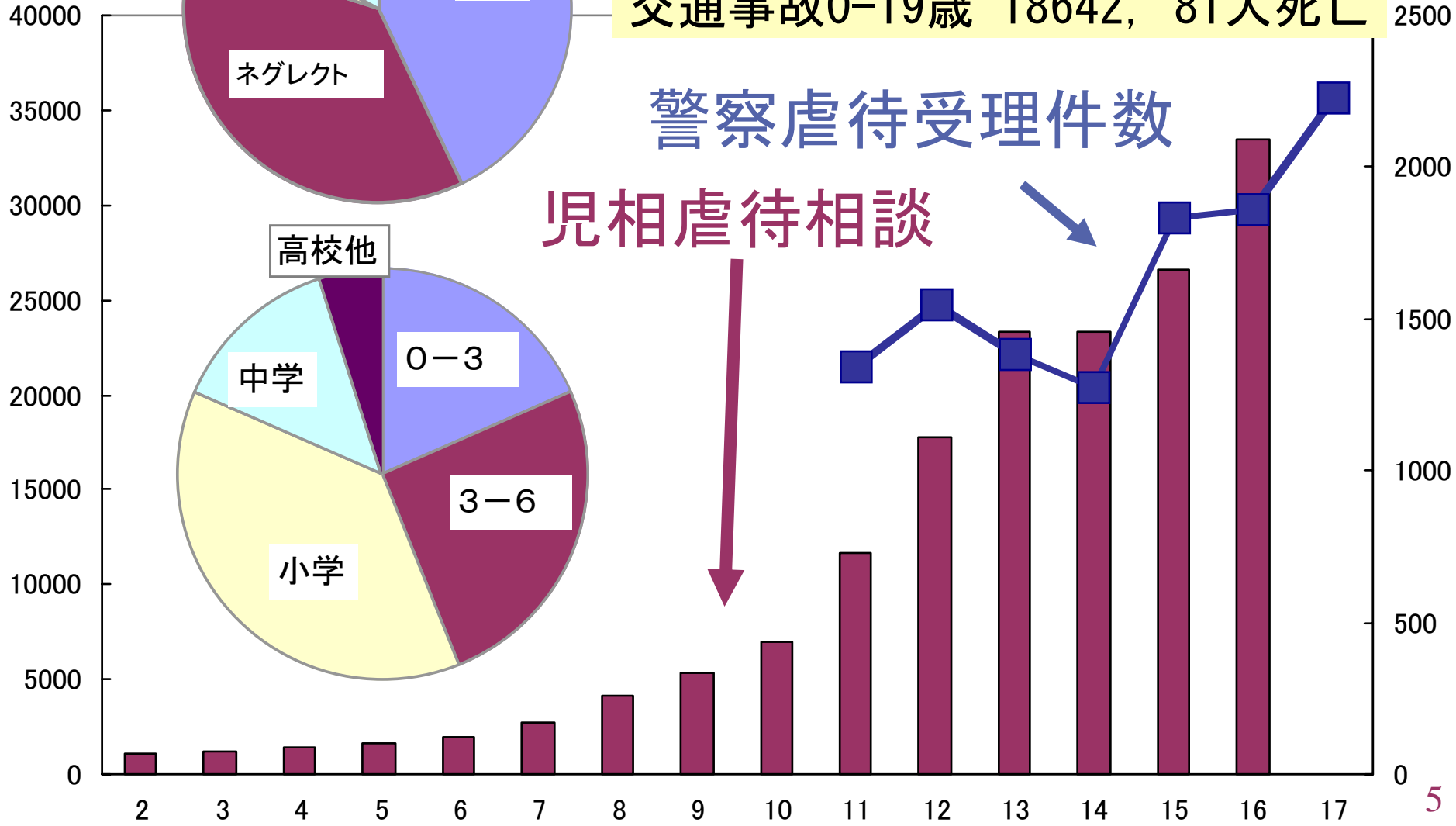
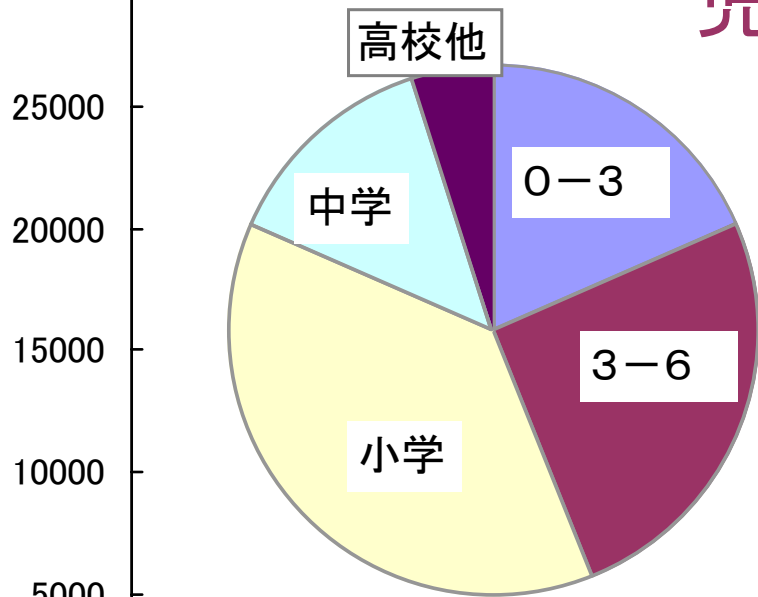
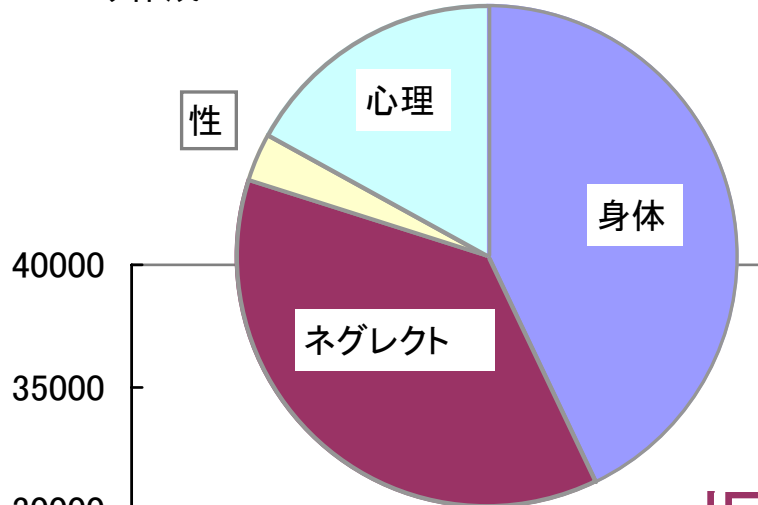
- 日本の若者ではニート，フリーター，パラサイト・シングル，晩婚化，ひきこもりなどが問題となっている。他にどのような問題があり，原因は何か。
- 諸外国の若者たちはどうか。日本及び諸外国はどう取り組んできたか。
- 自立支援施設などでの関係者への聞き取りによれば，力があまるというよりもひきこもり，エネルギーがない。日々の生活に困るわけではないが，その状態から抜けられないという問題がある。
- 虐待，いじめなどによる心の傷，画一的で多様性のない環境などが一因か。

# 青少年育成に関わる問題の一つ

- 虐待の問題：19年度の速報値で4万618件。警察で事件となっているものも年間約300件であり，死亡事件は18年度は18%。
- ニート，フリーターも重要課題だが，食事，安全な居場所，身体・心理的な世話を受けていない子どもがいる。後の問題行動，触法につながる例も多い。
  - ≫ 被害を受けたとされる幼児，児童，青年の訴え
  - ≫ 加害したとされる少年の訴え
  - ≫ 子どもへの面接，連携機関のコミュニケーションが不十分

青少年白書(文科省, 2007)より作成

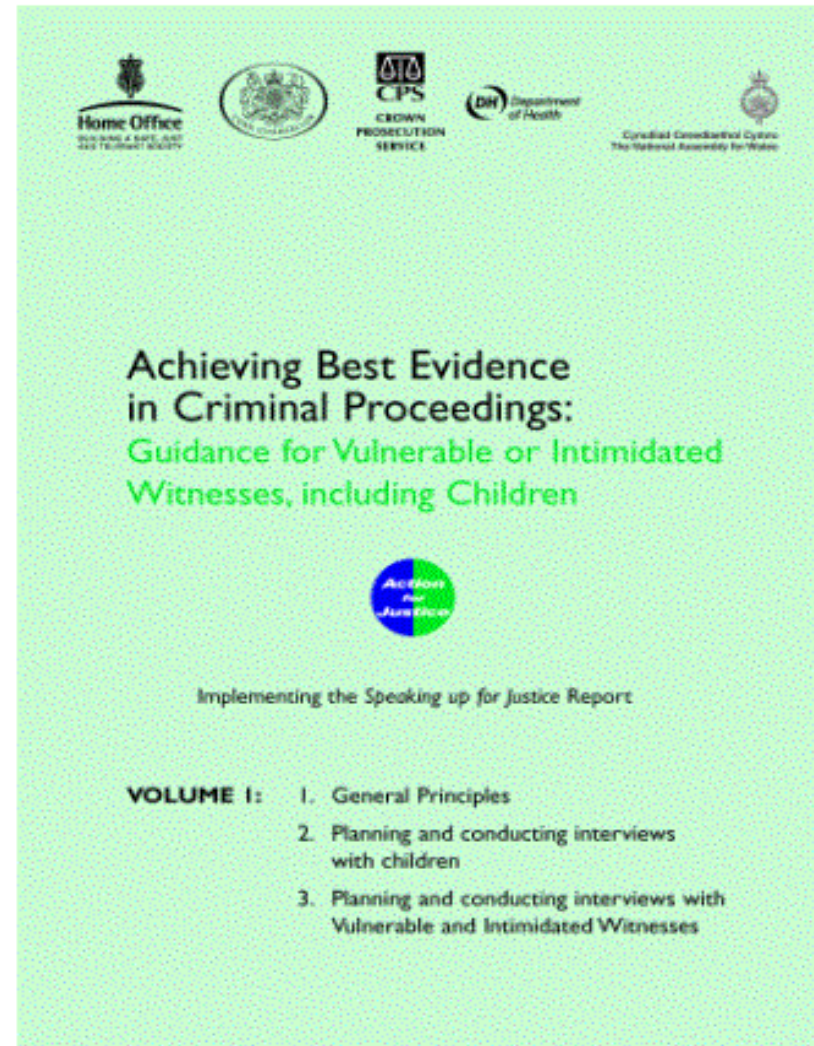
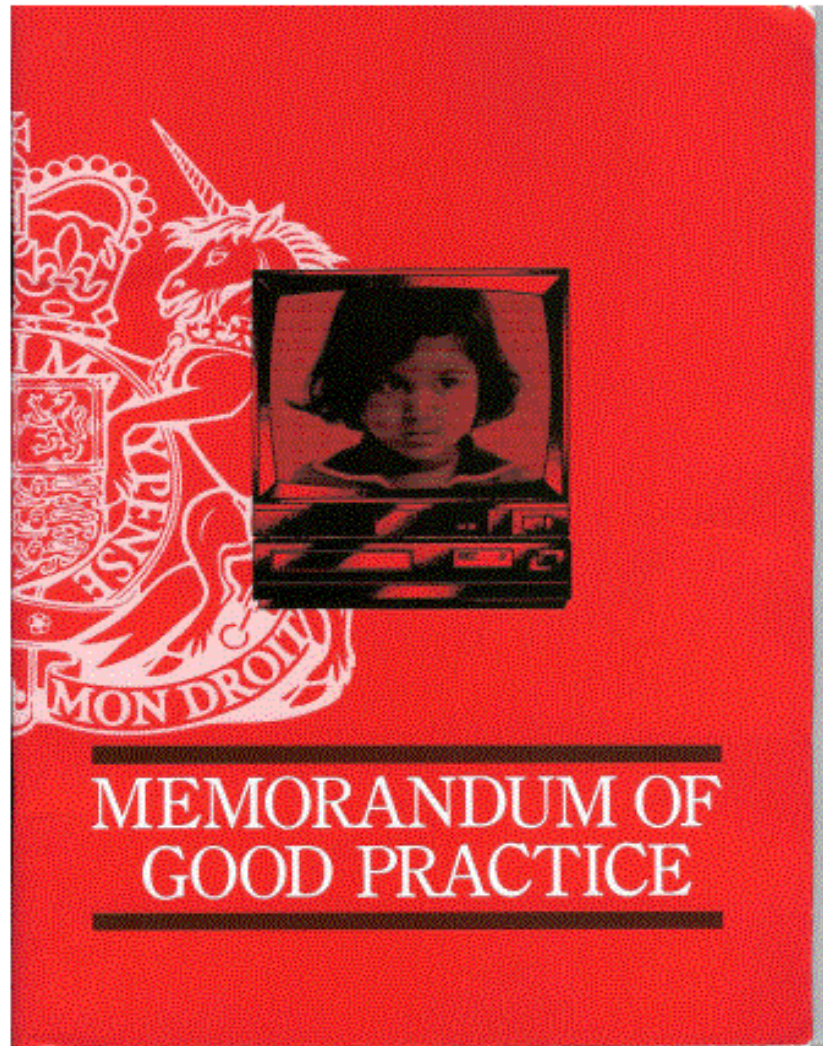
17年	222事件,	229人,	38人死亡
18年	297事件,	316人,	59人死亡
強姦		808	
強制わいせつ		4534	
ポルノ		7258	
交通事故0-19歳		18642,	81人死亡



## 諸外国の例：英国

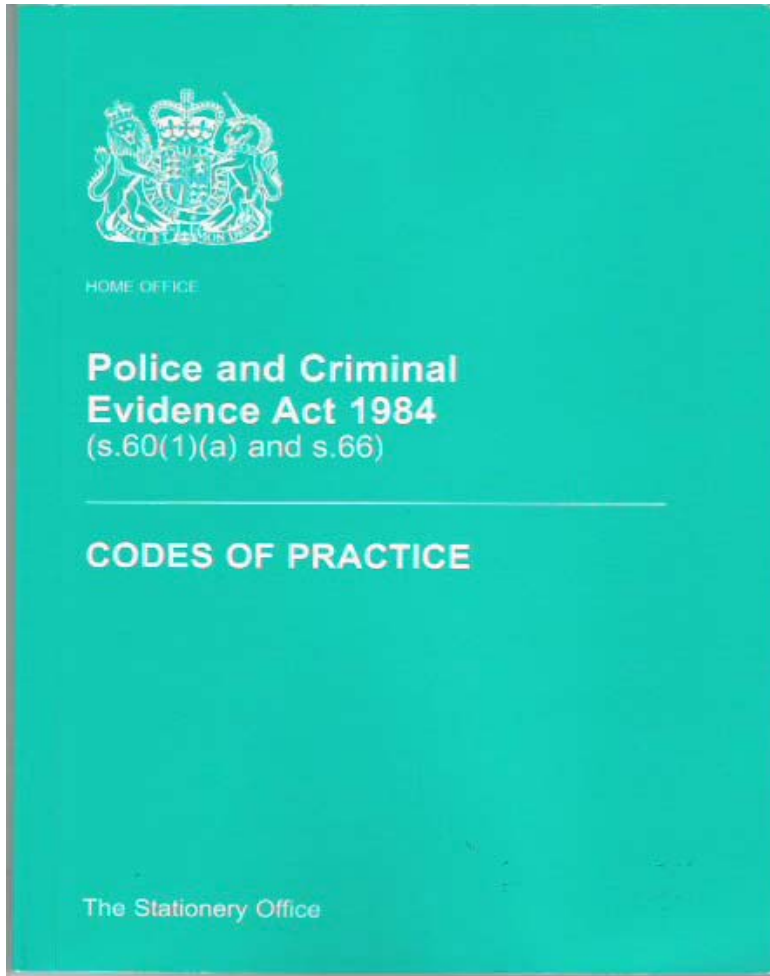
- 国連の子どもの権利条約を受け「子どもに第一のプライオリティ」を置いている。
  - » 社会が子どもを育てるという意識（被害の疑いがあれば、親に知らせることなくフォスターケアに）
- 子どもの保護のために福祉，警察，医者他の連携がとられている。
- 目撃者，被害者に対する司法面接は，子ども保護の大きなネットワークの要となっている。
- 被疑少年においても，話を聴くことを重視。





英国の面接法ガイドライン：MOGPとBest Evidence

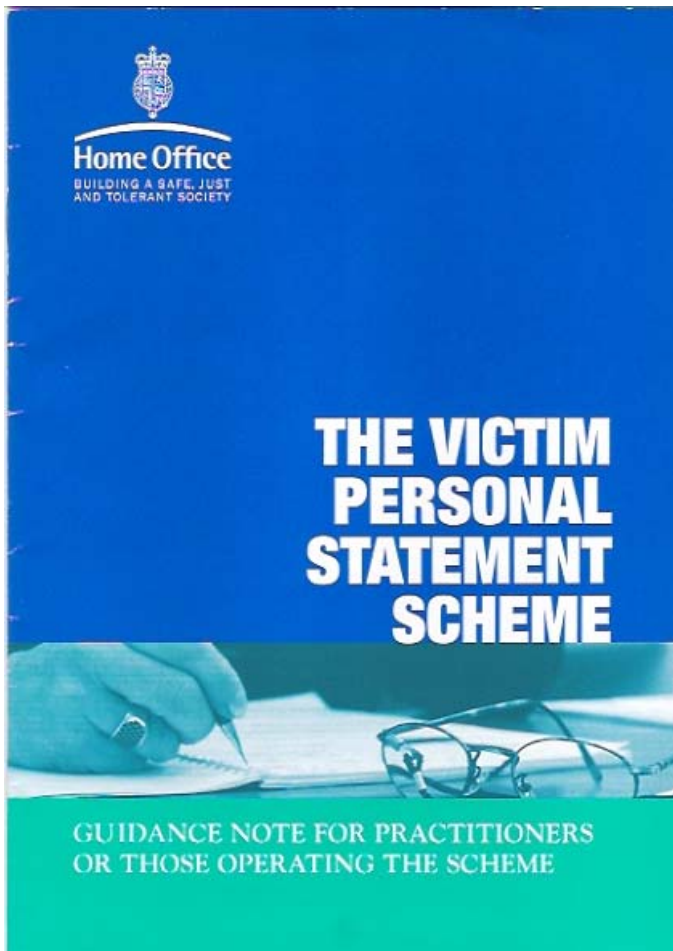
# Police and Criminal Evidence Act 1984



- 英国では，被疑者の取調べはガイドラインに沿ってテープ録音される。
- 被疑者が17歳未満の場合は，親または保護者と「適切な大人」が取調べに付き添う（C:11.15）。
- 付添人は取調べの様子を見るだけでなく，コミュニケーションを促進する役割も担う（C:11.16）。



# VPS Scheme : VPS規範 (英国内務省, 1999)



4.15.9 : 被疑者が少年である場合、警察はあなた（被害者）に「少年犯罪チーム（YOT : Young Offending Team）のメンバーが、あなたに連絡してもよいか」と尋ねるかもしれません。承諾すれば、チームはあなたに新たな「被害者陳述」を作るように依頼するでしょう。その陳述は、チームの目的である「修復的司法の提供」を満たすものでなければなりません。

## まとめると . . .

- 子ども一番という姿勢を明確にし、その福祉、ケアをしないと、たとえ成年を引き下げても子どもは社会に参加してくれない。

- 「大人」になることとは、どのようなことか。
  - » 最近の18歳，19歳前後の若者は「大人」か。
  - » 「大人」となるための要件は何か。
- 引き下げについてどう思うか。親の同意なく契約ができ，親の親権に服さない。
- 親の同意なく結婚ができるかどうか。
- 先進国の状況，少子化に鑑み18歳成年をどう考えるか。
- 引き下げには，法教育その他の教育を小，中，高でどうするか。

- 「大人」になることとは、どのようなことか。
  - › 最近の18歳，19歳前後の若者は「大人」か。
  - › 「大人」となるための要件は何か。
- 資格を得て「大人」になるのではない。
- 高校生，大学生，留学生：「大人」と関連する重要項目は経済的自立（就職），大人としての態度であった。結婚，契約，投票も関連はするが＝ではない。
- 個人や集団が「大人かどうか」ではなく，私たちは人生をどのように見ているのか。そして結婚，契約，投票権はどう位置づけられるのか，意識，理念の検討が必要ではないか。

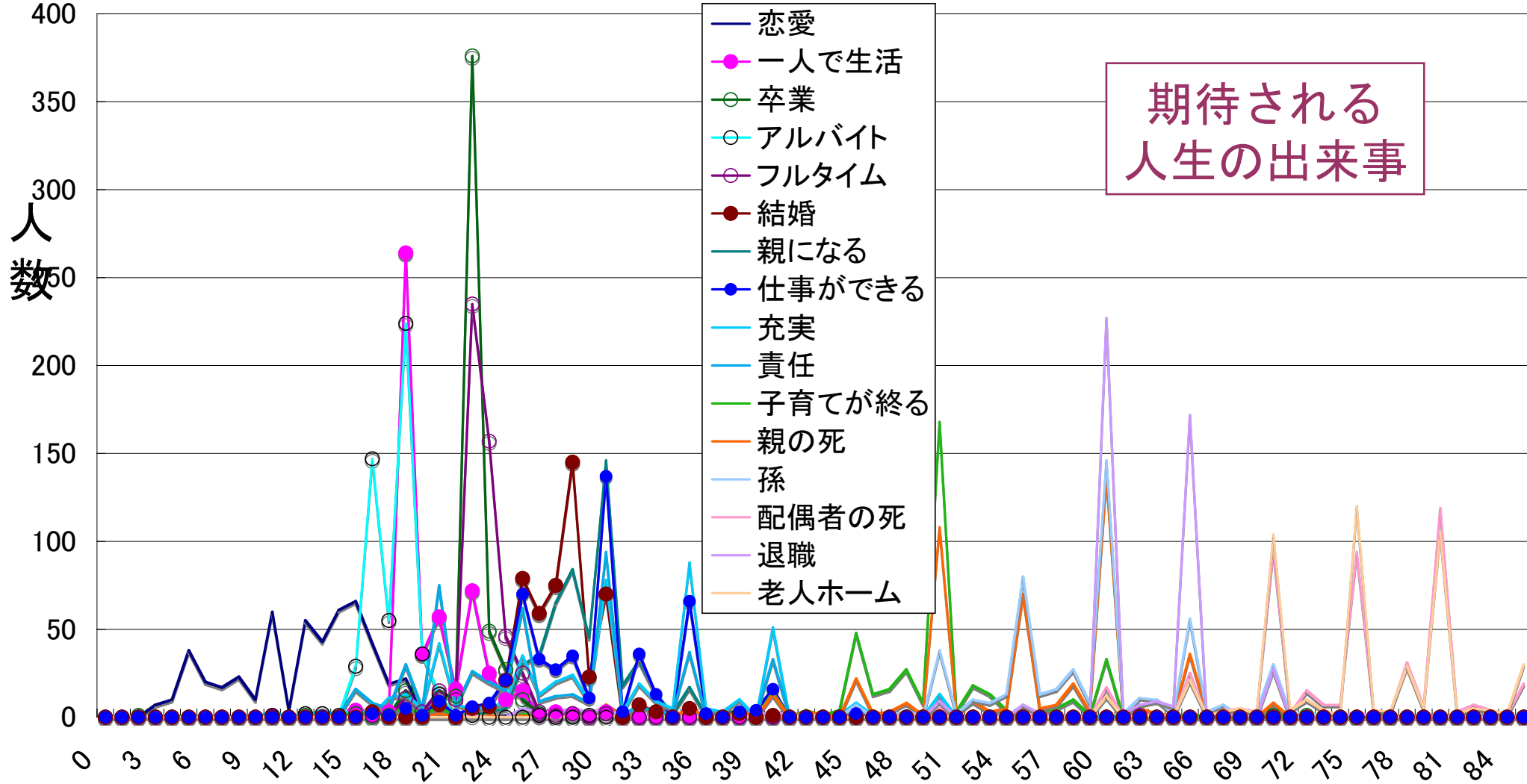
# ライフスクリプト調査

- ライフスクリプト
- 回答者：大学生， 社会人（18-74歳） 513人
  - » 北海道， 東京， 関西， 九州の大学生， 社会人
  - » 18-20歳      212人
  - » 20-30歳      197人
  - » 30歳-        97人

# 問い1

- ごく普通の一般的な幼児を思い浮かべてください。あなたと同じ性別の幼児だとします（あなた自身ではありません。この文化・時代に生きるごく一般的な幼児です）。この幼児が80歳まで生きるとしたら、下記の出来事はこの幼児が何歳の頃起きるでしょうか。
  - ▶ 恋愛する，家を出て一人で生活する，結婚する・・・
  - ▶ 責任をもって行動できる，人生が最も充実している・・・
  - ▶ たいへん嬉しい事が起きる，たいへん悲しいことが起きる
- 年齢ごとに回答者数をカウント。





18歳でピーク：一人で生活， アルバイト

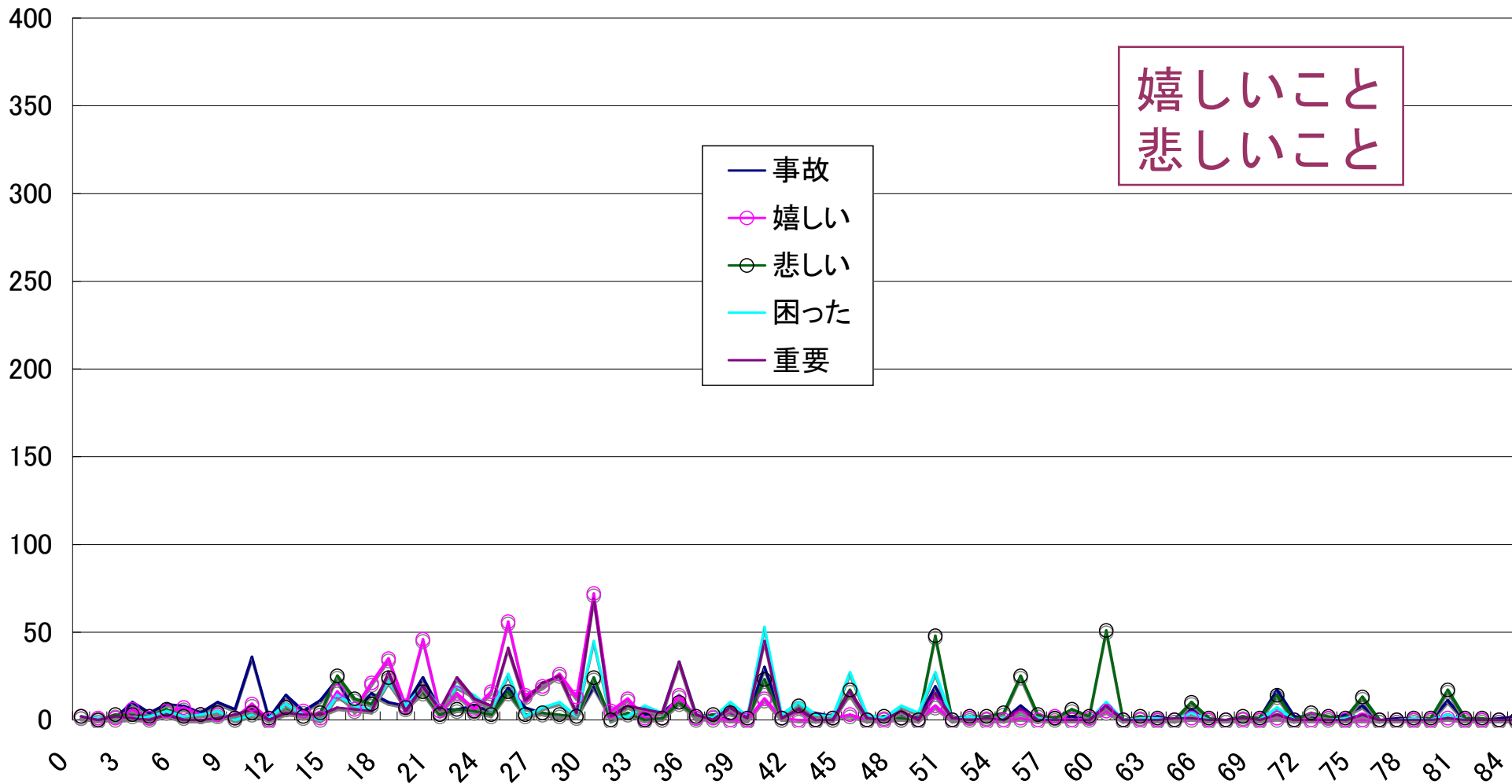
22歳でピーク：最終学歴卒業， フルタイム

28歳でピーク：結婚

30歳でピーク：親になる

\* 「責任」は30歳だが， 分散大。<sup>15</sup>

人数

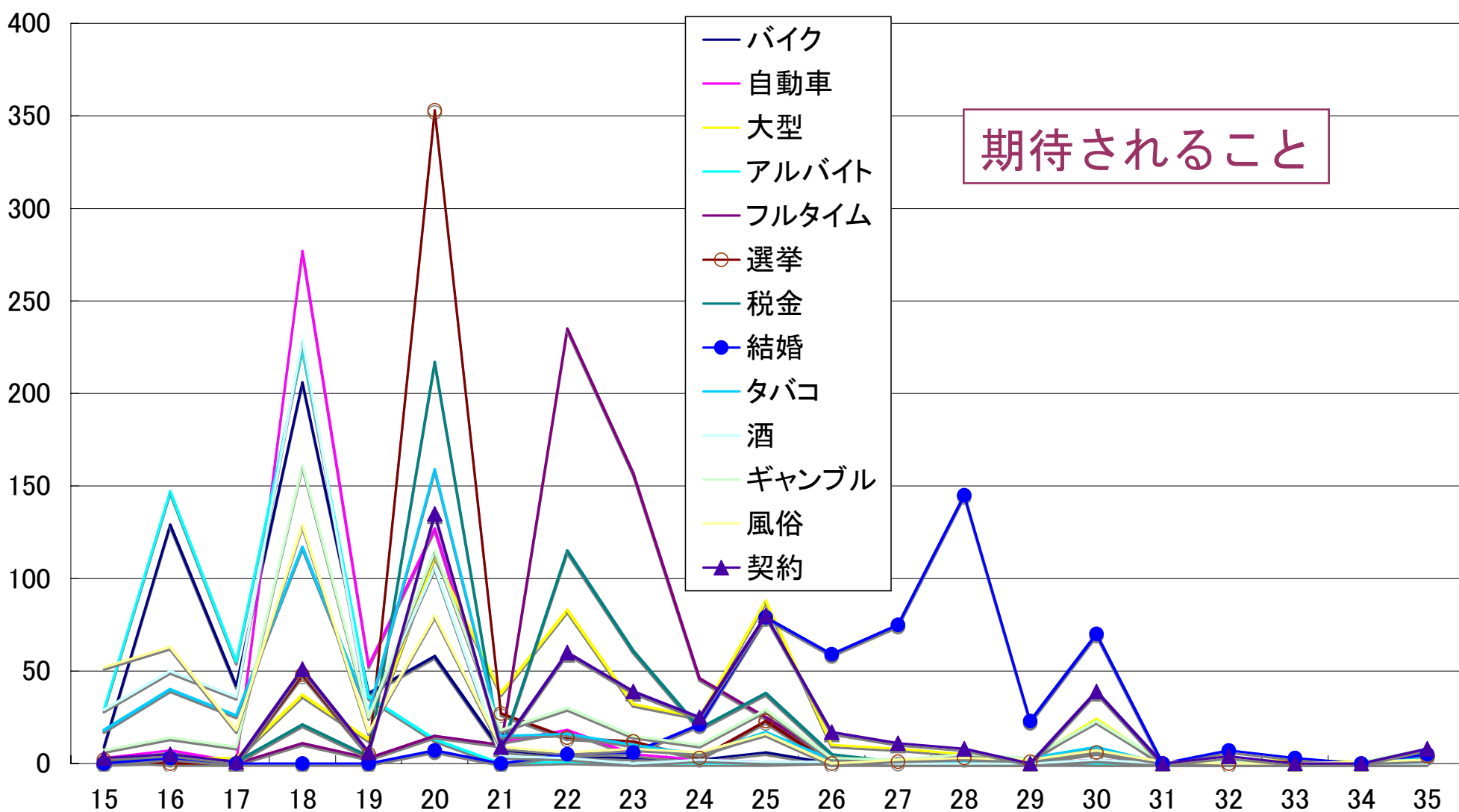


嬉しいことは若い方で、悲しいことは高齢の方で起きるとされるが、合意の度合いは少ない。

## 問い2

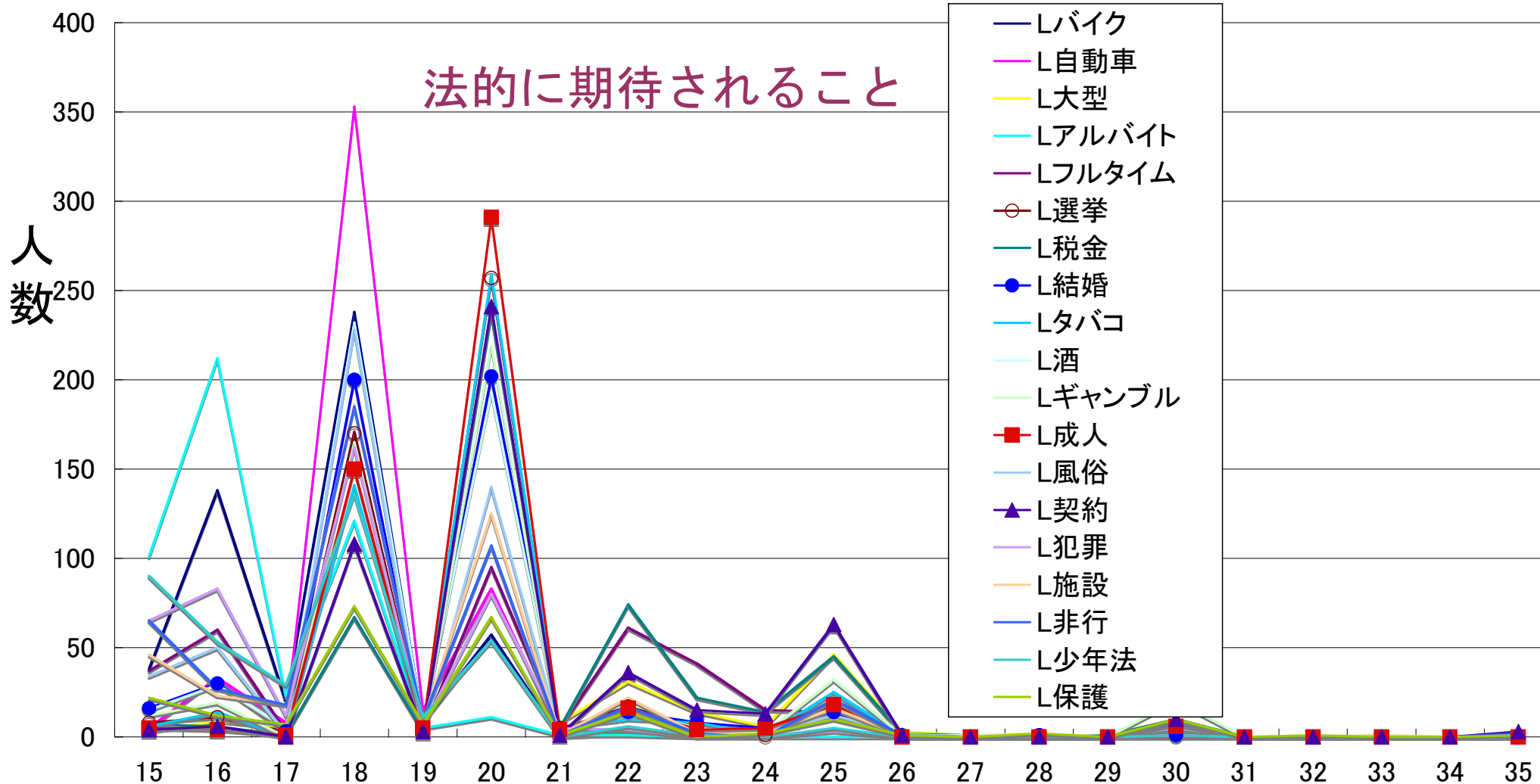
- 法律によって定められた年齢制限によらず、上の幼児が次の体験をしたとすれば、何歳頃すると思うか、考えをお書きください。
  - ▶ 選挙，契約，納税，免許，ギャンブル，酒，タバコ，風俗
- 法律によって年齢制限をつける場合、何歳であればよいか、望ましいと思われる年齢をお書きください。

人数



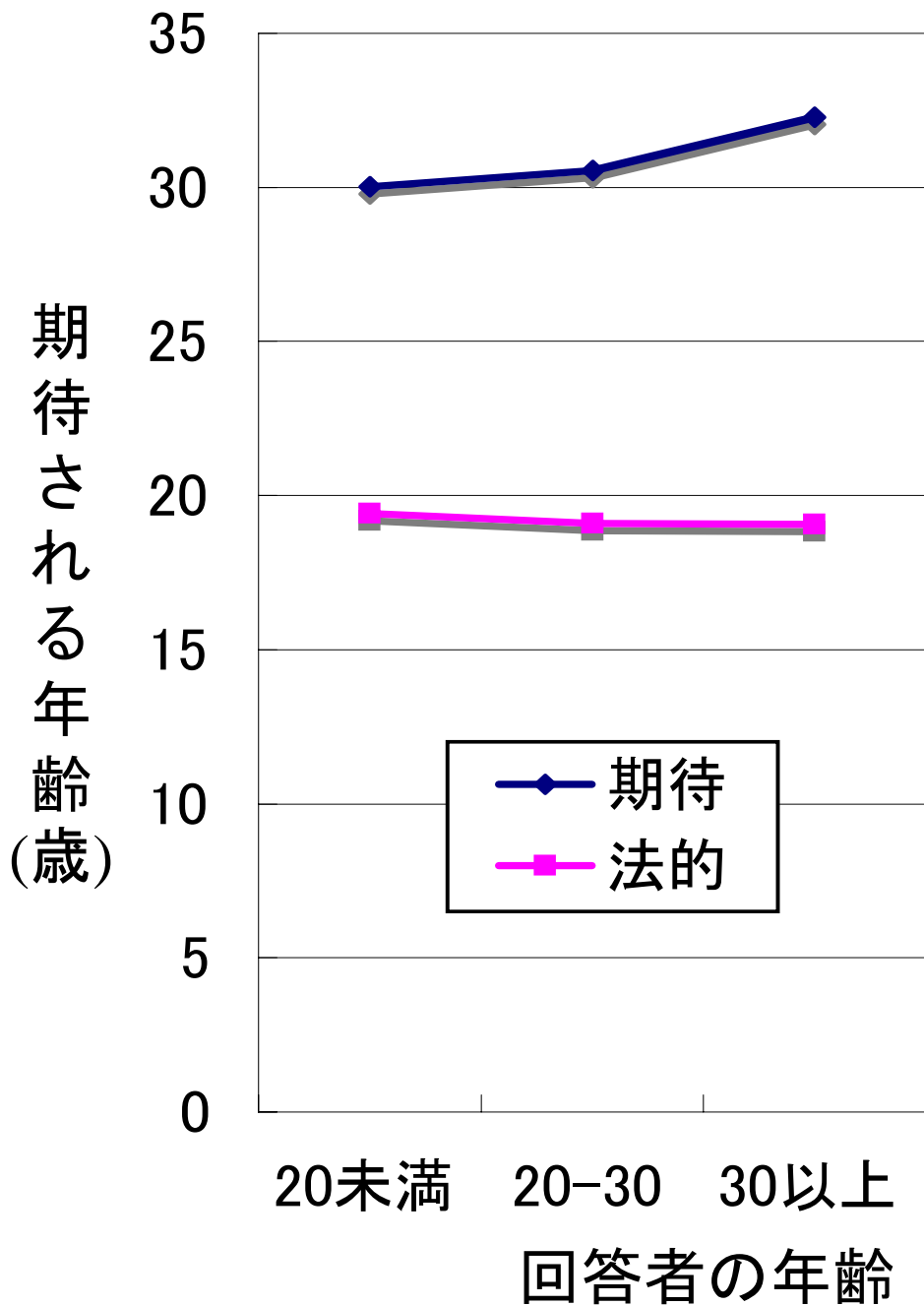
期待されること

18歳でピーク：アルバイト，免許 \*タバコ，酒，ギャンブルも  
20歳でピーク：選挙，契約  
22歳でピーク：フルタイムの仕事  
28歳でピーク：結婚



合意のピークは18歳と20歳

成人	: 18歳 29%,	20歳 56%
契約	: 18歳 21%,	20歳 46%
結婚	: 18歳 38%,	20歳 39%
選挙	: 18歳 33%,	20歳 50%



回答者の年齢が高いほど、期待される年齢は後の方に。

結婚 : 26.6, 27.4, 28.2

責任 : 24.3, 26.3, 30.7

仕事 : 28.5, 29, 30.1

退職 : 59.3, 59.6, 64.3

ただし、法的に期待される年齢は差がないか低くなる。

成年 : 19.9, 19.8, 19.3

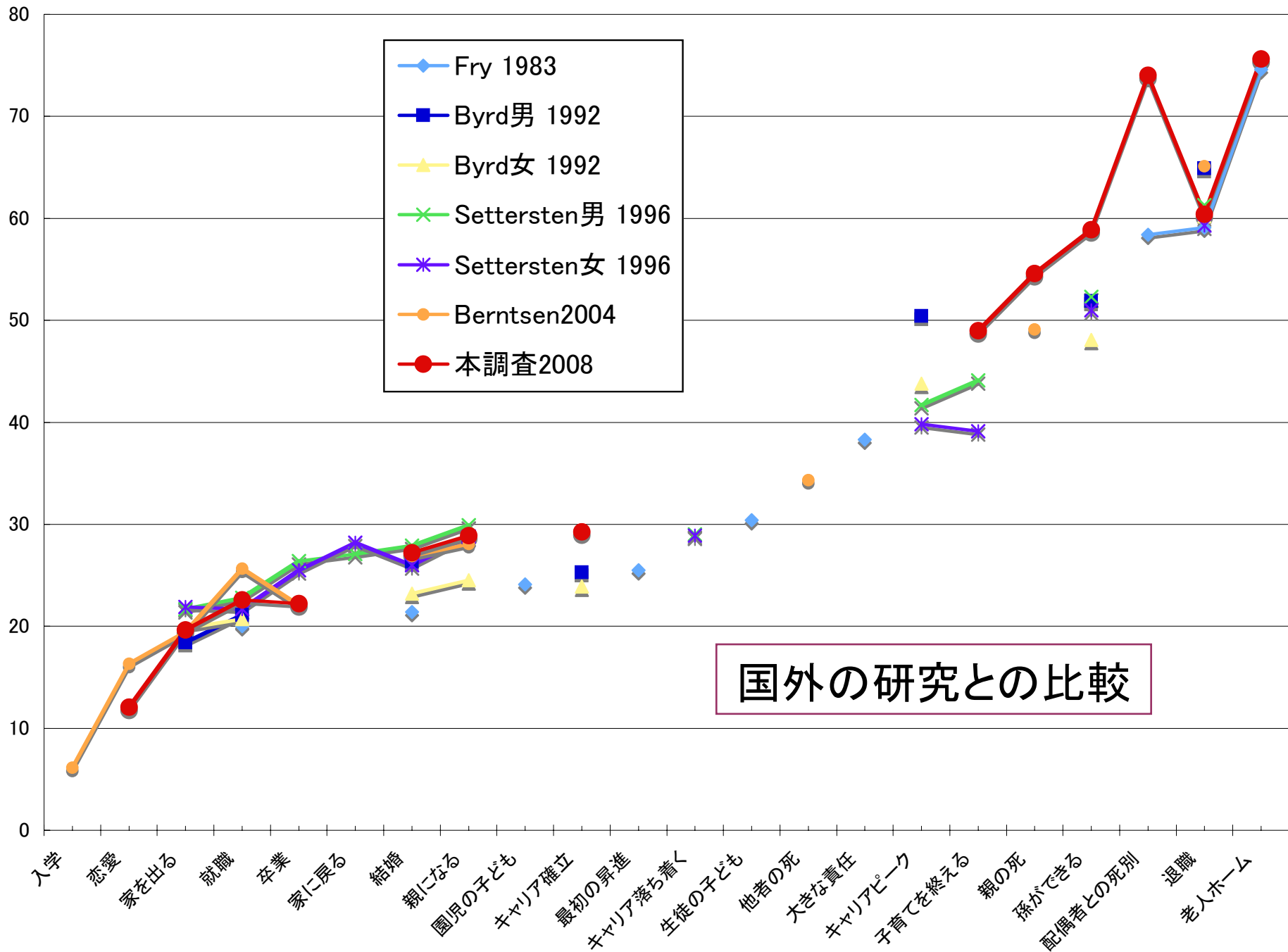
結婚 : 19.2, 19, 18.6

選挙 : 20.2, 19.3, 19.7



- 「大人」になるということは、どのようなことか。
  - ▶ 18, 20, 22, 28, 30歳の節目を迎えながら、大人の要件となる種々の能力をつけていくことと捉えられる。
- 成年を引き下げることについてはどうか。
  - ▶ 18歳と20歳は、結婚、投票権、契約の節目とみなされている。高校生は否定的だったが、大学生以上については、想定されないことではない。
  - ▶ 期待にそって能力を身につけていくのであれば、結婚、投票権は先に、契約については後でもよいかもしれない。
- 先進国の状況、少子化に鑑みると18歳成年はどうか。
  - ▶ 問題も構造も異なる諸外国と合わせる必要はない。
  - ▶ 少子化の時代、子どもは一人たりとも失うことはできない。成年を下げたとしても子どもの不利にならないように。
- 法教育その他の教育を小、中、高でどうするか。
  - ▶ 教育もだが、福祉の充実を（生活する環境を子ども自身が選択できるように、文科省、厚労省、法務省の連携が必要）。

年齢



国外の研究との比較